

●緩和ケア症状緩和関連薬剤

実施内容	緩和ケア病棟における症状緩和関連薬剤
対象患者	各種薬剤対象者
承認日	2025年12月12日
実施期間	承認後永続的に使用
目的・概要	<p>緩和ケア領域では症状緩和に必要な適応を有する薬剤が世に出でていないことがあり、様々な医療機関からのエビデンス集積により経験的に薬剤の適応外使用が行われている。当院では特に緩和ケア病棟にて使用する以下の適応外薬剤について必要なエビデンスをまとめ、入棟時同意を取得した上で必要時使用していく形とする。ただし、使用する際はその都度適応外の旨は説明し、いつでも同意の撤回をすることが可能とする。</p> <p>ヒドロモルフォン製剤（カルス・カルピド・カルバイン）：呼吸困難 モルヒネ製剤（モルヒネ末・オブリ・MSコントロール・モルヒネ注）：呼吸困難 オキシコドン製剤（オキソチノ・オキノム・オキファスト）：呼吸困難 アルプラゾラム：呼吸困難 エチゾラム：呼吸困難 リンデロン錠（ベタメタゾン）：呼吸困難 デカドロン錠（デキサメタゾン）：呼吸困難 ドルミカム注（ドロレプタン）：鎮静 ダイアップ座剤（ジアゼパム坐剤）：鎮静 サイレース錠・静注（フルニトラゼパム）：鎮静 ナイキサン錠（ナプロキセン）：腫瘍熱 ポプスカイン（レボブピバカイン）：難治性疼痛 サムスカ（トルバズタン）：がん性腹水 バルプロ酸ナトリウム：神経障害性疼痛 リボトリール錠（クロナゼパム）：神経障害性疼痛 サインバルタカプセル（デュロキセチン）：神経障害性疼痛 ケタラール（ケタミン）：神経障害性疼痛 キシロカイン注（リドカイン）：神経障害性疼痛 メキシレチンカプセル：神経障害性疼痛 メトクロプラミド錠：吃逆 ジプレキサ錠（オランザピン）：悪心 トラベルミン（ジフェンヒドラミンアリル酸塩・ジプロフィリン錠）：悪心 アタラックスP（ヒドロキシジン）：悪心 ロラゼパム：悪心 アルプラゾラム錠：悪心 リスピダール錠・内用液（リスペリドン）：悪心</p>

	<p>セレネース注（ハロペリドール）：悪心 ルーラン錠（ペロスピロン）：悪心 クエチアピン：せん妄 リスパダール錠・内用液（リスペリドン）：せん妄 セレネース注（ハロペリドール）：せん妄 ジプレキサ錠（オランザピン）：せん妄 ルーラン錠（ペロスピロン）：せん妄 シクレスト舌下錠（アセナピン）：せん妄 ロナセンテープ・錠、（プロナンセリン）：せん妄 レスリン錠（トラゾドン）：せん妄 コントミン糖衣錠（クロルプロマジン）：せん妄 ポラプレジンク：亜鉛欠乏性味覚障害</p>
予想される 不利益と対策	<p>【不利益】医薬品副作用被害救済制度の対象にならない 【対策】同意書取得の際に、医薬品副作用被害救済制度の対象にならない旨の説明を行い、理解を得る。 各種薬剤投与時後副作用モニタリングを実施する。</p>
問い合わせ先	東京慈恵会医科大学附属第三病院 検査治療を担当している診療科 TEL：03-3480-1151（代表）